

特許検索競技大会 2025で三分野ゴールド制覇賞など多数受賞！

～生成AI時代でも揺るがない検索力を証明～

トヨタテクニカルディベロップメント株式会社（本社：愛知県豊田市、代表取締役社長執行役員：香川 佳之／以下、当社）は、一般社団法人工業所有権協力センター（IPCC）主催の「特許検索競技大会 2025」において、三分野ゴールド制覇賞、団体の部 2位、複数名のゴールド認定など、多数の賞を受賞いたしましたので、お知らせいたします。

本大会は、電気、機械、化学・医薬の各分野で特許検索力を競う国内唯一の競技大会です。今年度は生成AIの利用が認められた初の大会となりましたが、当社は生成AI活用環境下でも、高い検索力を示しました。

【2025年度：受賞概要】

個人の部	三分野ゴールド制覇賞：1名	小田 紘之 (2018：電気、2024：機械、2025：化学・医薬)
	ゴールド認定：2名	大橋 玲沙（機械）、山田 遼騎（電気）
	シルバー認定：6名	垣岡 武範（化学・医薬）、筧 きよみ（電気） 宮本 愛子（電気）、横山 悠（電気） 渕田 成美（電気）、大平 瑞樹（機械）
	ブロンズ認定：7名	小路 早紀子（電気）、杉本 敦子（電気） 保庭 堂二（機械）、萩野 里保（機械） 平松 航（機械）、飯川 航成（機械）、水谷 亮太（機械）
	団体の部	2位入賞 山岡 真弓、横山 悠、大平 瑞樹

※ () 内は分野、下線は過去ゴールド認定者



写真左から大平 瑞樹、山岡 真弓、山田 遼騎、大橋 玲沙、横山 悠

(2 / 3)

当社は、特許調査の検索能力の維持・向上のために、教育プログラムやサポート体制、実務経験など組織的・計画的に推進しています。本大会への参加もその一環であり、若手人材の育成とトップクラスサーチャーのさらなる強化を目指しています。

今年度は世代交代を見据え、次世代育成を一層強化して大会に臨みました。その結果、若手中心のチームで団体の部 2 位を獲得し、さらに 2 名が本人としては初となるゴールド認定を取得しました。加えてトップクラスサーチャーからも 2 人目の三分野ゴールド制覇賞受賞者が 1 名誕生し、当社の検索力とサーチャーの層の厚さを改めて示すことができました。

また、今年度は初めて所定の条件付きで生成 AI の利用が認められた大会でしたが、当社は生成 AI 活用環境下でも高い成績を収め、「人×AI」時代においても揺るがない検索力を証明しました。

当社では、生成 AI を活用した知財業務支援 DX ツール『AI Ninja』の開発や、特許検索を含む実業務への生成 AI 活用を進めています。こうした取り組みにより、急速に進展する生成 AI 活用時代においても当社の検索力は確かな強みとして発揮されています。

当社は今後も、知財活動を支えるパートナーとして、お客様の知財活動に貢献できるよう、さらなる能力向上を続けてまいります。

【2025 年度を含む受賞実績】

▽個人の部（在籍者数）

- ・最優秀賞：2 名
- ・三分野ゴールド制覇賞：2 名、複数回ゴールド認定：5 名
- ・ゴールド認定：12 名（電気分野 6 名、機械分野 6 名、化学・医薬分野 5 名）
- ・シルバー認定：10 名
- ・ブロンズ認定：12 名

▽団体の部

- ・優勝：4 回（2015、2016、2018、2024）
- ・2 位：3 回（2014、2015、2025）
- ・3 位：3 回（2017、2018、2019）

<特許検索競技大会について>

特許検索スキルの向上を目的とした競技大会で、学生から実務経験者まで幅広い層が参加します。大会は、電気、機械、化学・医薬の各分野における特許検索の能力を競い合うもので、参加者は与えられた課題に対して最適な特許検索を行い、その精度と効率を評価されます。

以 上

【トヨタテクニカルデベロップメント株式会社 会社概要】

設立： 2006年4月

所在地： 愛知県豊田市花本町井前1番地9

代表者： 代表取締役社長執行役員 香川 佳之

事業内容： IP（知的財産）事業

調査・技術動向解析、外国出願・権利化（特許・意匠・商標）、翻訳・通訳

計測シミュレーション事業

計測機器・装置の開発／製作、装置・設備の企画／計画立案、

モデルベース開発ソリューションの提案／提供、計測機器の校正／検査／修理、

次世代事業の開発支援

出資比率： トヨタ自動車株式会社 100%出資

URL : <https://www.toyota-td.jp/>

